

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	住宅販売会社 （従業員）	お客様の様子	・客の行動は引き続き活発で、反応も非常に具体的である。展示場への来場者数も増加し、契約数も順調である。
	やや良く なっている	衣料品専門店 （経営者）	それ以外	・数店舗のヤング店の中で、商品力や販売力の備えた店は売上目標をクリアしている。
		家電量販店（経営者）	それ以外	・4月は例年以上に気温の高い日が続いているため、エアコンの販売動向が極めて良い。
		一般レストラン （店長）	来客数の動き	・昼の来客数が若干減少したが、夜の来客数が若干増加したため、売上はやや増加している。
	都市型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・婚礼、宴会の半減により全体の売上は前年を下回っているが、団体利用による宿泊部門、来客数が増加しているレストラン部門及び一般宴会は前年を上回る見通しである。	
変わらない		商店街（代表者）	来客数の動き	・土、日の来客数は増加しているようにみえるが、平日は相変わらず閑散としている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・空き店舗の増加により、相変わらず人通りが少ない。
		一般小売店〔鮮魚〕（店長）	単価の動き	・客単価の低下は前年対比で3月前と同じ水準で続いている。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・ファッションの中で昨年になかった色目の商品、特にパステルカラーの商品はある程度動いてきたが、客の慎重な購買動向は依然変わらない。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数はショッピング目的以外でも増加し、買上客数も増加している。しかし、1人当たり買上点数は増えていないため、客単価は前年割れとなっている。
				・食品は価格競争が激しいため、チラシによる売出し商品の価格に客は非常に敏感になっている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・一品単価が低下しているうえ、買上点数が増加しないため、相変わらず客単価は伸びていない。必要な物以外は買わないという状況が続いている。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・来客数は変わらないが、客単価が低下している。一品単価の低下よりは買上点数の減少が影響している。
		乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・小型車はRV車を中心に結構売れているが、2000CCクラスの高価格車は乗用車を中心に相変わらず売行きが回復していない。
		乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・小型自動車の市場は健闘しているが、高級セダンを主力とする当社では販売量が回復せず、苦戦が続いている。
		住関連専門店（店長）	来客数の動き	・高額の家具商品は売上が減少し、厳しい状況が続いているが、家庭雑貨品はまとめ買いもみられ、前年同月の売上をクリアしている。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	単価の動き	・原油高の下で過当競争がなお続いており、価格転嫁ができないため、業績は若干悪化したまま推移している。
		その他専門店〔医薬品〕（営業担当）	単価の動き	・販売量は横ばいであるが、デフレマインドの継続と競争激化により、販売額がやや減少のまま推移している。
		一般レストラン（スタッフ）	単価の動き	・4月から完全学校週5日制が導入されたため、金、土、日曜日の週末の売上増加を期待していたが、逆に週末の売上が平日と変わらなくなり、実質的に客数が減少している。
観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・通常日の入込客は悪いが、ゴールデンウィークは例年と変わらない。		
旅行代理店（従業員）	単価の動き	・単価の低下が売上減少につながっているが、送客数に変化はない。		
タクシー運転手	来客数の動き	・百万石博の影響で、観光客が以前より増加しているが、夜の繁華街への来客数はまだ少ない。		
美容室（経営者）	来客数の動き	・既存店では、どのようなキャンペーンを実施しても新規客は増加しない。来客数を増やすためには店のリニューアルが不可欠である。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	やや悪くなっている	設計事務所（職員）	お客様の様子	・大手ゼネコンの倒産ショックが少し落ち着き始めたが、業界の信用不安がぬぐいきれないため、客の計画はスムーズに進まない。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・買上客数は前年の98%を割り込んでいる。3月は気温がかなり暖かかったため初夏物の動きが良かったが、気温がいったん落ち着くと、商品の動きも鈍っている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・競合店は現れていないが、来客数の減少が続いている。新規客の減少よりも既存客の来店頻度の減少が原因とみられる。
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・商談の中で競合店の話題が頻繁に出てきている。
		自動車備品販売店（従業員）	来客数の動き	・3月までとは打って変わり、来客数が減少し大幅な前年割れとなっている。昨年は特需が4月にずれ込んだため、大幅な売上増加となった特殊事情を差し引いても今年は悪くなっている。昨年までは春になれば買換えする客が多かったが、今年はもう少し我慢しようという客が目立つ。
		一般レストラン（店長）	販売量の動き	・昼の客は変わらないが、特に夜のゴールデンタイムは売上高、来客数とも約1割の減少となっており、家族連れの客が若干少なくなっている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・本来は書き入れ時の4月であるが、新入社員の歓迎を兼ねた花見会でも一次会で終わりというケースが多く、売上は例年の85%程度に減少している。 ・不況業種の多い地元では、新聞紙上の「景気は上向き傾向」という発表とは逆に、現実を引き続き大変苦しいという企業関係者の声が多い。工場の操短のため従業員が交代で休んだり、連休の一部を返上して役員会に充てる企業などもみられる。
		都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・単価は引き続き低下しているが、特に宿泊部門が顕著である。レストラン部門も、高単価の接待などの件数が減少の一途をたどっている。
		テーマパーク（経営者）	単価の動き	・平均的な客単価は500円程度低下している。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・例年4月は展示会の来場者数が少ないが、今年は特に減少している。
悪くなっている	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・今まで来ていた客が来店しなくなり、また他の安売り店でその客を見かけることもある。	
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・販売、修理ともに激減している。	
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・団体客の動きが前年同月比でかなり鈍くなっている。金沢の百万石博の関連ツアーは好調と聞いているが、コース組の客が金沢に流れているため、前年同月比では5%の減少となっている。また、個人客の動きも前年同月より低調である。	
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・従来、販売価格は100円が主流であったが、最近は150円、200円の商品の数量が増加している。売価が徐々に上昇する傾向がみられる。
		新聞販売店〔広告〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・折込チラシの申込件数、金額ともに、好調であった前年同月の水準に近づいている。
	変わらない	繊維工業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・良質の低価格品が海外から多く入っている。
		化学工業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・4月1日から薬の公定価格が平均6.3%引下げられたため、当然売上は減少し、メーカー、卸、小売業者ごとに非常に大きな格差が出ている。
		精密機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・国内の販売先の状況は商品が売れず、採算も上がらない。一方、海外はアメリカを中心に受注がかなり回復しているという情報があちこちから入っているのので、総体的にはプラスマイナスで変わらない。
		建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・施工能力を超える受注水準となったが、価格面は依然として厳しい状況が続いており、更に支払い条件も厳しい。また、立替資金も増加傾向にある。
輸送業（配車担当）	受注量や販売量の動き	・輸送状況は悪く、それに伴い価格も依然低迷している。同業者の状況も同様である。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		不動産業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・3月に発表された地価公示は地方都市では引き続き大幅な下落が続いており、土地購入の手控えに一層拍車がかかっている。
		司法書士	取引先の様子	・分譲マンションや個人住宅の売行きは若干良いが、企業関係の新しい事業展開はまだみられない。
	やや悪くなっている	プラスチック製品製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・取引先から価格改定の変更が多数出ており、かなり厳しい。
		建設業（経営者）	取引先の様子	・官公庁工事の入札状況をみると、1、2月に比べて3、4月は予定価格を大幅に切った入札が増加している。業者は資金繰りに非常に困っている様子が伺える。
	悪くなっている	-	-	-
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている			
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子	・大手飲食店チェーンの出店予定が若干あるため、アルバイト、パートのニーズが増加しているが、正社員は相変わらず横ばいである。
		民間職業紹介機関（経営者）	それ以外	・依然として求人と求職のミスマッチがあり、まだ求職者が仕事を選んでいる状況である。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・平成15年3月卒業者の新規採用求人票の到着状況は、前年同期比で県内が8件増の13%アップ、県外は37件減の12%ダウンである。求人内容は営業が大半で、女子学生から希望の多い事務職は半減しており、厳しい状況が続いている。
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・年末から続いた事業主都合による退職者の多くが滞留しており、更に年度替わりによる4月の求職者が加わるため、月間有効求職者の増加が予想される。
	悪くなっている	-	-	-